

	号外	定価 1部2円	評協議会意見交換会実施中！人員確保には支部・評協議会からの実態に即した要求も重要です！	
	昭和34年4月1日	発行所 盛岡市内丸10番1号		No.2698
	第3種郵便物認可	岩手県庁内		2024年
		岩手県職員労働組合		7月18日

## 7.10人員確保要求書提出・人事課総括課長交渉

# 「分会基礎調査」で**153人**人員要求

### 専門職種：育児休業取得しやすい環境を 緊急時対応：増員含めた人員体制確保を

7月10日、県職労は5～6月に取り組んだ「分会基礎調査」の結果を反映した知事あて「人員確保に関する要求書」を内城人事課総括課長に提出した。併せて、任期付職員からの選考採用枠拡大及び任期付職員処遇改善の要請書も提出し、基本姿勢を質すべく、交渉を行った。



内城人事課総括課長（左）に要求書を提出

①人員確保に関し、「振興局や出先機関を直接訪問・ヒアリングし、職場の現状や課題を聞いている」「あらゆる手段を講じてマンパワー確保に取り組んでいく」とした。また、「技術職員のワークライフバランス定数は、昨年とおおむね同水準を確保している」との説明に



課題を訴える県職労中執ら

対し交渉団から、「**専門職**（獣医師・薬剤師・保健師等）については**育児休業を取得しにくい実態にある**」と改善点を指摘した。

②緊急時対応（自然災害、感染症、家畜伝染病等）に関し人事課は、「今回の豚熱対応への御尽力に感謝する」「総務部を含む関係部局において、危機事案発生時における**継続的**



回答する内城人事課総括課長

な通常業務の実施に係る対応策の検討を行う。職員の負担軽減も重要な観点である」とした。

小田嶋委員長から「団塊世代と入れ替わりで若い職員が増えているが経験値という意味で全体のマンパワーは落ちている。人材育成を並行して行うことのできる職場環境の必要性を認識・検討願いたい」と要請し、交渉を終了した。

今後、組織・定数検討が本格化することから、現場からの要求強化が重要。

支部・評協議会の独自要求をはじめとする取組の強化を要請する。**（裏面へ続く）**

### ③ 退職者数と新規採用者募集計画の見通し

(県職労) 段階的定年引上げ制度完成までに想定される退職者数と新規採用者募集計画の見通しは。特に、今年度に60歳到達する職員には翌年度以降の勤務意向調査が行われたと聞いているので、その状況も含めて示されたい。

(人事課) 今年度に60歳到達する職員の勤務意向は重要。昨年度からの勤務意向変更の有無を確認しており、その結果も踏まえたうえで、採用等による人員確保に努める。

### ④ 会計年度任用職員の配置

(県職労) 専門職の会計年度任用職員(旧非常勤職員)の任用協議通知の予定・考え方を示されたい。当事者にとっては、今後に関わる重大な関心事である。また、事務補助等(旧臨時職員)について、来年度の予算フレームに向けた検討状況を示されたい。

(人事課) 専門職の会計年度任用職員は、6月下旬に協議手続き等について各部局に通知した。9月中を目途に、各部局に協議結果を通知する予定。事務補助等は、予算・議会日程により早期化は困難。検討状況について所属に随時情報提供していく。

### ⑤ 任期付職員(震災復興関連)経験者採用選考枠確保及び処遇改善

(県職労) 県行政を遂行した実績と経験を活かし、対象者全員をカバーしうる選考採用枠確保に向けた基本姿勢を示されたい。

(人事課) 採用選考は、即戦力となる人材の確保等を目的に実施。採用枠は、退職者数や他の採用試験の採用予定数を総合的に勘案して決定。これまで毎年度実施してきた。

## 2025参院選比例 自治労組織内 『岸まきこ』 県職労に来訪 総決起集会開催



豚熱対応の実態を説明する高谷書記次長(左)

7月11～12日、自治労組織内で2025年参議院議員選挙比例代表での再選をめざす「岸まきこ」参議院議員が来県し、県内の自治労加盟組合で職場課題や政策課題等について意見交換した。また、11日は宮古市で、12日は北上市と盛岡市で自治労県本部が政治学習会・総決起集会を開催した。

12日夕方、岸参議院議員は県職労本部に来訪し、県職労本部役員らと意見交換を行った。

主なテーマは次のとおり。

- ① 災害、感染症、家畜伝染病等の緊急時対応を踏まえた自治体の人員確保及び財源確保
- ② 再任用職員の一時金をはじめとする処遇改善
- ③ ガソリンの「トリガー条項」発動

その後、岸参議院議員は達増知事を表敬訪問し、地方自治法改正等の諸課題について意見交換した。



県職労の諸課題に耳を傾ける  
岸まきこ参議院議員(左)